

令和2年1月21日

「令和元年度国立研究開発法人建築研究所 講演会」を開催 ～最新の研究開発成果をいち早くご紹介します～

建築研究所では、研究成果や調査活動の発表を通じて、住宅、建築及び都市の各分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供することを目的として、毎年3月に「建築研究所講演会」を開催しております。

今年度も、当研究所が取り組んでいる研究活動を中心に、各分野における研究開発の最新情報をいち早くご紹介します。また、会場のホールロビーでは、研究成果等をポスターにして展示するとともに、研究者が直接説明するコアタイムを予定しております。

さらに、特別講演として、北海道大学名誉教授の越澤明氏をお招きし、「都市計画法・建築基準法制定100周年を記念して」と題してご講演をいただく予定です。

1. 開催概要

日 時： 令和2年3月13日（金）10：30～16：30（開場 10：00）
（※ 当日のタイムスケジュールは、別紙ポスターをご参照ください）

会 場： 有楽町朝日ホール（東京・有楽町マリオン 11 階）

申込み： 事前登録不要（入場は先着順）

参加費： 無料

※本講演会は、建築士会CPD制度の認定プログラムです。

2. 特別講演

北海道大学名誉教授 越澤明氏

「都市計画法・建築基準法制定100周年を記念して」

プロフィール

1952年生まれ。
東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院修了。
神奈川県庁、北海道大学大学院工学研究院教授等を歴任。
専門分野は都市政策、都市計画。工学博士。

国土交通省の社会資本整備審議会で、住宅宅地分科会、都市計画・歴史的風土分科会、歴史的風土部会の会長を歴任。

主な著書に、「東京の都市計画」（岩波新書）、「東京都市計画の遺産- 防災・復興・オリンピック-」（ちくま新書）など。



3. 一般講演

建築研究所における主な研究成果等、住宅・建築・都市分野における研究開発に関する最新の情報をいち早くご紹介いたします。

一般講演一覧

演 題	担当研究者
令和元年（2019年）台風第15号による建築物等の被害調査報告	構造研究グループ グループ長 奥田泰雄
巨大地震に対する鋼構造建築物の終局状態の評価と損傷検知	構造研究グループ 上席研究員 長谷川隆
中高層木造建築物等の構造設計技術の開発	材料研究グループ 上席研究員 槌本敬大
木質内装の火災安全設計法の研究	防火研究グループ 上席研究員 鍵屋浩司
国際地震工学研修 60年の歩み	国際地震工学センター センター長 横井俊明
省エネ法改正に伴う住宅・建築物の新たな評価基準の開発	環境研究グループ 主任研究員 三浦尚志
建築物の外壁の定期調査における新たな技術の適用に向けて	建築生産研究グループ 上席研究員 眞方山美穂
空き家の改修による高齢者等の居場所づくり	住宅・都市研究グループ 上席研究員 米野史健

4. パネル展示

会場ロビーでは、パネルを展示しております。

午前の講演終了後、各担当研究者がステージ上にてパネル展示を行う研究のポイントを説明します。その後、昼休みのコアタイムには、パネルの前でそれぞれの研究成果や今後の方針などについて説明を行い、皆様からのご質問に直接お答えいたします。

パネル展示一覧

パネル内容	担当研究者
枠組壁工法 4層鉛直構面の静的水平載荷実験	構造研究グループ 主任研究員 中島昌一
鉛直 2000t, 水平 2方向加力装置	構造研究グループ 主任研究員 中村聡宏
東京23区における都市開発諸制度により創出された緑地の特徴	環境研究グループ 主任研究員 熊倉永子
重量床衝撃音遮断性能の発生系と予測手法に関する基礎的研究	環境研究グループ 研究員 平川 侑
サステナブル建築物等先導事業（省CO ₂ 先導型）における採択事業の概況	環境研究グループ 専門研究員 牧 奈歩
動物実験に替わる防火材料のガス有害性評価手法の開発	防火研究グループ 研究員 趙 玄素
災害廃棄物等を用いたリサイクルコンクリートの実用化に関する調査	材料研究グループ シニアフェロー 棚野博之
建築物の点検調査および災害調査におけるドローン技術の開発と社会実装に向けた取り組み	材料研究グループ 主任研究員 宮内博之

パネル内容	担当研究者
鉄筋コンクリート構造物における鉄筋腐食とコンクリートの含水状態の関係に関する研究	材料研究グループ 主任研究員 松沢 晃一
建築の設計から維持管理までの一貫した情報化(BIM)の加速化とその対応	建築生産研究グループ 上席研究員 武藤正樹
海岸線からの距離及び標高による津波波力の低減に関する研究	建築生産研究グループ 主任研究員 岩田善裕
建築部材部品を対象とした3次元形状の取得方法に関する研究	建築生産研究グループ 研究員 高林弘樹
模型実験を活用した市街地火災性状予測	住宅・都市研究グループ 上席研究員 岩見達也
商業系用途地域内の住環境整備に向けた建築規制・誘導に関する研究	住宅・都市研究グループ 研究員 中野 卓
国際地震工学研修の成果事例	国際地震工学センター 上席研究員 小豆畑達哉
鉄筋コンクリート部材の構造実験データのばらつきと数値解析の精度に関する研究	国際地震工学センター 主任研究員 諏訪田晴彦

※ 上述の内容については変更する場合がありますので、予めご了承ください。

(内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所
企画調査課 青柳
電話 029-879-0638
E-mail kikaku@kenken.go.jp

令和元年度 国立研究開発法人

建築研究所 講演会

プログラム

10:30	開会
10:35	理事長挨拶 理事長 緑川光正
10:40	講演1 令和元年(2019年)台風第15号による建築物等の被害調査報告 構造研究グループ グループ長 奥田 泰雄
11:05	講演2 巨大地震に対する鋼構造建築物の終局状態の評価と損傷検知 構造研究グループ 上席研究員 長谷川 隆
11:30	講演3 中高層木造建築物等の構造設計技術の開発 材料研究グループ 上席研究員 梶本 敬大
11:55	講演4 木質内装の火災安全設計法の研究 防火研究グループ 上席研究員 鍵屋 浩司
12:20	パネル展示の紹介
12:35	昼休み パネル展示
13:35	講演5 国際地震工学研修60年の歩み 国際地震工学センター センター長 横井 俊明
14:00	講演6 省エネ法改正に伴う住宅・建築物の新たな評価基準の開発 環境研究グループ 主任研究員 三浦 尚志
14:25	講演7 建築物の外壁の定期調査における新たな技術の適用に向けて 建築生産研究グループ 上席研究員 眞方山美穂
14:50	講演8 空き家の改修による高齢者等の居場所づくり 住宅・都市研究グループ 上席研究員 米野 史健
15:15	休憩
15:30	特別講演 都市計画法・建築基準法制定100周年を記念して 北海道大学名誉教授 越澤 明
16:30	終了予定



特別講演

**都市計画法・建築基準法
制定100周年を記念して**

越澤明 北海道大学名誉教授

1952年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。同大学院修了。神奈川県庁、北海道大学大学院工学研究科教授等を歴任。専門分野は都市政策、都市計画、工学博士。国土交通省の社会資本整備審議会、住宅地分科会、都市計画、歴史的風土分科会、歴史的風土部会の会長を歴任。主な著書に、「東京の都市計画」(石波新書)、「東京都市計画の遺産―防災・復興・オリンピック―」(ちくま新書)など。

令和2年3月13日(金)

会場10:00 開会10:30

有楽町朝日ホール

(有楽町マリオン11階)
東京都千代田区有楽町2-5-1



主催・問い合わせ先
国立研究開発法人 建築研究所 企画部企画調査課
TEL●029-879-0638
http://www.kenken.go.jp

参加
無料

●入場料・講演会テキスト代は無料●事前登録不要(当日は名刺をご持参頂ければ幸いです)●席に限りがあることをご了承ください